

# エンバイロシール 20/40

## ENVIROSEAL 20/40

### コンクリート保護用 水性シラン系浸透性吸水防止材

エンバイロシールは、新/旧コンクリート面に塗布しますとコンクリート躯体に浸透し、化学反応により吸水防止層を形成します。このメカニズムにより、コンクリート構造物の耐久性（塩害・凍結融解作用）を飛躍的に向上させると共に、外観を維持する効能を兼ね備えたコンクリート保護用水性シラン系浸透性吸水防止剤です。

#### 特長

1. 高耐久性（優れた防水層の形成）
  - ・塩化物（塩化物イオン）や酸性雨等の水の侵入を防止し、コンクリートの劣化を抑制します。
  - ・アルカリ骨材反応を抑制すると共に、凍結融解による劣化からコンクリートを保護します。
  - ・水蒸気透過性（通気性）に優れています。
2. エフロの防止
  - ・エフロの発生を防止します。
3. 美観性
  - ・汚染水の浸入防止やカビの成長を抑制してコンクリートの美観を維持します。又、上塗り材の塗布もできます。
4. 作業性・安全性
  - ・吹付け、又は刷毛・ローラー刷毛等で簡単に塗布施工ができます。
  - ・湿気を帯びた面にも塗布できます。
  - ・水性タイプ（無溶剤）で、臭気・毒性もなく、環境に優しく安心して使用できます。
  - ・施工器具は水洗いできます。

#### 種類と用途

エンバイロシール20	エンバイロシール40
<ul style="list-style-type: none"><li>・新/旧コンクリート構造物</li><li>・橋梁</li><li>・高速道路</li><li>・冷却塔</li><li>・コンクリート遮蔽物</li><li>・二次製品</li><li>・立体駐車場</li><li>・競技場</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路床版等の摩耗を受けるコンクリート構造物</li><li>・過酷な環境下にあるコンクリート構造物</li></ul>

#### 標準使用量

コンクリート下地、二次製品等…0.2～0.4 ℓ/m<sup>2</sup>

ALC板、ブロック等……………0.5 ℓ/m<sup>2</sup>

#### 使用方法

1. 施工面は高圧洗浄やワイヤブラシ等でレイタンス・カビ・油脂を取り除き、健全で清浄な施工面にしてください。また、欠損部やひび割れは、予め補修モルタル等で補修してください。
2. 施工は、吹付けガン及び刷毛・ローラー刷毛を用いて均一に塗布してください。尚、吹付けには、一般塗装用のエアレスタイプの吹付け機器を使用してください。
3. 垂直面への施工は、下部から上部へ約20cm巾で塗布してください。

## 物性試験結果例

試験項目	材料名		NSKS-004 規格値
	エンバイロシール20	エンバイロシール40	
塗布後の外観	変化なし	変化なし	変化がないこと
エンバイロシールの浸透深さ	3.9mm	4.8mm	2mm以上
塩分浸透深さ	0.8mm	0.8mm	3mm以下
吸水比	0.06	0.06	吸水比0.1以下(24時間値)
温冷繰り返し作用による抵抗性試験	0.08	0.07	吸水比0.1以下(24時間値)
耐候性試験	0.07	0.07	吸水比0.1以下(24時間値)
透水性	0.05	0.04	透水性0.1以下(24時間値)
固形分量	20%	40%	—

基 板：S/C=2.5 W/C=65%

吸水比：塗布したものの吸水量(g) / 塗布しないものの吸水量(g)

透水性：塗布したものの透水量(g) / 塗布しないものの透水量(g)

## ■ 上塗り材との付着性試験結果例

エンバイロシールの種類	上塗り材の種類	碁盤目テープ法による評価点数	付着強度(N/mm <sup>2</sup> )
エンバイロシール20	アクリル樹脂系	10点	2.37
	ウレタン樹脂系	10点	2.65
エンバイロシール40	アクリル樹脂系	10点	2.67
	ウレタン樹脂系	10点	2.20

## 使用及び取扱いの注意事項

- 使用前に容器を良く振ってから使用してください。
- 外気温及び施工面の表面温度が5～40℃の範囲内で使用してください。
- 気温が5℃以下になる場合は施工を避けてください。
- 塗布後4時間以内に雨が予想される場合は、施工を避けてください。
- 吹付け直後の表面にべとつきが残りますので、約4時間の養生時間を取ってください。  
床版等に塗布した場合、表面が乾くまで交通開放をしないでください。
- 密閉した室内で使用する場合は、十分に換気してください。
- 湿気を帯びたコンクリート面にも施工できますが、乾燥面への施工が効果を最大にします。
- 本品は直射日光を避け、5～35℃の屋内に保管してください。冬季間は凍結させないようにご注意ください。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗浄してください。又、眼に入った場合は、浄水で十分に洗浄し、専門医の診察を受けてください。
- 誤って飲みこんだ場合、水または牛乳を飲ませ専門医の診察を受けてください。

※詳しくは製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

## 包装形態

18.93ℓ / 缶(5USガロン / 缶)

※本商品についてのお問い合わせは、本社建材営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

# BASF ポズリス株式会社

本 社 東京都港区六本木6丁目10番1号 混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980  
六本木ヒルズ森タワー 21階 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244  
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273  
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487  
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515  
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505  
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218  
(松本支店事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

[www.pozzolite.basf.co.jp](http://www.pozzolite.basf.co.jp)

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

